

# お盆について

新潟県仏教会前会長  
新潟市仏教会 理事 加藤 朝 雄

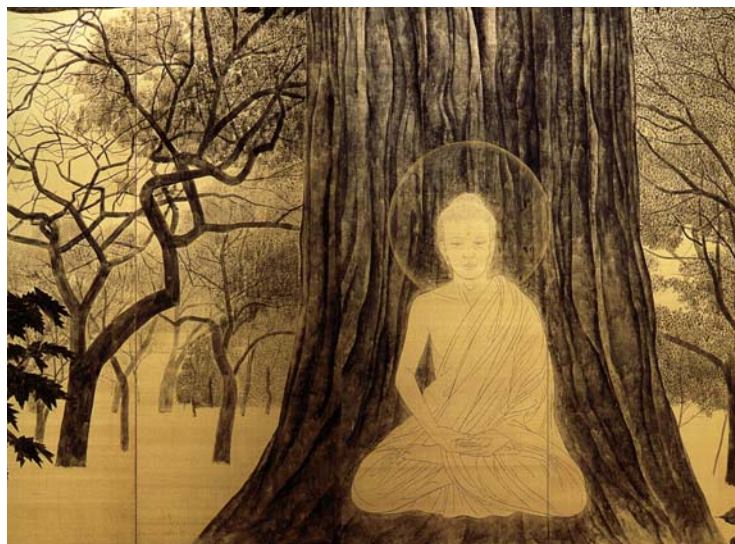
日本の年間二大行事として、正月とお盆が挙げられます。お盆は、「先祖様が各家に里帰りなさる時」とされますので、この時期に僧侶を招いて盆供養をする習俗があります。

お盆の起源は、次のようなお話に基きます。お釈迦様の弟子「目連尊者」は、ある日、亡くなった母御に会いたいと思いい、あの世の母を探しました。神通力ですり当てる母御は、なんと餓鬼道という地獄で苦しんでいたのです。

どうしたらよいか悩んでいる目連に、お釈迦様はこう教えました。「七月十五日には坊さんたちが皆お寺に集まるから、その僧達を供養しなさい。そうすれば母御は助かる」と。この事と日本古来の先祖を大切にする習俗が結びつき、「七月十三日に先祖を迎えて供養し、十六日にはあの世にお送りする」という盆行事が生まれました。

盆棚作り・迎え火・盆踊り・送り火・大文字焼き・精霊流し等は、一連の盆行事です。花火や盆踊り、それに伴う夜店での買い物など、夏の夜は、楽しい盆行事が満載です。里帰りした親戚や友人と久しぶりに出会うことも、お盆の御利益です。

お盆行事の一つとして、仏教各宗派の殆どは、寺院や各家庭で先祖供養を致します。来るべきお盆には、「お墓参り」だけでなく、「お寺参り」も忘れないでほしいものです。



畠中光享画伯「林住禅定」(部分)



発行：新潟市仏教会  
責任者：河合正樹

## 新潟市仏教会設立に思う

新潟市仏教会立ち上げ準備会 座長 浅 平 真

平成十七年の新潟市大合併以来、早や八年の歳月が流れました。合併当初より旧新潟市や旧津市の仏教会を中心に、新市域すべてを包括し新潟市を代表する新たな仏教会組織の設立が模索されてきました。し

## 新潟市仏教会 役員名簿

会長	河合正樹	願隨寺(真宗仏光寺派)	中央区
副会長	今湊良信	勝念寺(真宗大谷派)	中央区
副会長	阿部正機	観音寺(曹洞宗)	秋葉区
監事	五十嵐昭孝	本住寺(法華宗陣門流)	秋葉区
監事	廣川和宏	高念寺(真宗大谷派)	南区
顧問	浅平真	浄徳寺(真宗大谷派)	中央区
事務局長	眞谷誠祐	林徳寺(浄土真宗本願寺派)	江南区
理事	桑原弘光	瑞光寺(曹洞宗)	中央区
理事	篠原真二	城願寺(真宗大谷派)	西蒲区
理事	川村克巳	巖念寺(真宗仏光寺派)	西蒲区
理事	花井性寛	仏照寺(真宗仏光寺派)	西蒲区
理事	細川好円	護念寺(真宗大谷派)	西区
理事	藤由秋一	福浄寺(浄土真宗本願寺派)	西区
理事	目黒英章	錦繍寺(曹洞宗)	秋葉区
理事	廣嶋通為	不染寺(日蓮宗)	秋葉区
理事	光井光麿	法厳寺(真宗大谷派)	秋葉区
理事	加藤朝雄	広大寺(曹洞宗)	秋葉区
理事	小林一三	普談寺(真言宗智山派)	秋葉区
理事	清水幸栄	通心寺(真宗大谷派)	江南区
理事	村山祐信	順信寺(真宗大谷派)	東区
理事	鷺尾徳厚	光伝寺(浄土真宗東本願寺派)	南区
理事	渡辺学	明正寺(真宗大谷派)	北区
理事	手島恵雄	西厳寺(浄土真宗単立)	北区
理事	青木一男	往生院(浄土宗)	中央区
理事	田村憲吾	法雲院(日蓮宗)	中央区
理事	広河良文	光照寺(真宗大谷派)	中央区
理事	齋藤唯宣	念仏寺(真宗大谷派)	中央区
理事	小林明雄	薬王寺(法華宗陣門流)	中央区

### 各宗派からのお知らせ

**親鸞聖人750回御遠忌 記念講演会 -ありのまま-**  
テーマ：「いのち」について  
開催日時：平成25年9月7日(土) 午後2時30分 開演会  
会場：朱鷺メッセ・メインホール  
入場料：前売り1,500円(当日1,800円)  
講師：養老 孟司/解剖学者・東京大学名誉教授  
宮崎 哲弥/評論家《ナビゲーター》  
一楽 真/大谷大学教授  
お問合せ先：浄徳寺 TEL. 025-243-6030

### 《編集後記》

新潟市大合併にともなう新たな新潟市仏教会設立にあたり、本来この「仏法僧」は創刊号となるものでありますが、旧新潟佛教会の季刊誌「仏法僧」を踏襲しようとの声が多岐にわたるから、歴史と、今までの読者の思いの深さを鑑み、第三十六号とさせていただきました。さらにこの季刊誌「仏法僧」が号数を重ねる中で、多くの皆様の心の寄り処となることを念じ、毎号丁寧な誌面作りを心掛けてまいります。ご忌憚のないご意見などお寄せ下さい。宜しくお願い致します。

### ご挨拶



新潟市仏教会 会長  
河合正樹

この度、平成二十五年四月一日より伝統ある各市域の仏教会、仏教寺院を中心に合併し、新生「新潟市仏教会」が設立され会長に就任いたしました。中央区真宗佛光寺派願隨寺住職河合正樹と申します。浅学非才ではありますが、多くの会員諸兄、理事、事務局の皆様のお力を結集していただき、務めさせていただきます。新潟市仏教会を立ち上げるまでには、上記「新潟市仏教会設立に思う」に記載のように会議を重ね、多くの皆様のお知恵をお借りいたしました。ここに関係各位に心より御礼申し上げます。

また、新潟市仏教会の組織は上部団体として全日本仏教会・新潟県仏教会がありその下部組織として活動しています。

今後、新潟市仏教会の活動としては、今年をもって解散しました「新潟佛教会」の主催諸事業(講演会開催・季刊誌発行等)を継承し、その他にも各市域でのお釈迦様降誕会(花まつり法要)の後援、戦没者追弔法要等の後援をさせていただきますと思ひます。今後とも皆様のご協力ご支援を賜ります様、宜しくお願いいたします。

合 掌



白象行列



誕生仏への灌仏

**味方仏教会・花まつり**

四月二十九日に、二ヶ寺合同（本願寺派常敬寺、大谷派圓性寺）で花まつりをお勤めしています。もう約六十年間合同で続いています。

内容は二部構成になっています。第一部は子供達中心のお勤め、法話、紙芝居、ゲーム、白象行列を大谷派児童教化連盟の方々に協力していただいております。そして第二部は大人中心の勤行、両寺住職による法話会、両寺仏教婦人会役員のお齋兼懇親会という内容になっています。

地域の方々にお釈迦様の誕生と人生を通して、その意味と意義に触れていただき、尊いと言いつけることを問う縁にしたいだけのように、これからも二ヶ寺合同の花まつりをお勤めしていきたいと思っております。



秋葉山平和塔（仏舎利塔）



花まつり法要

**秋葉区仏教会・花まつり**

昭和二十九年インドのプラサト大統領とネール首相から平和のシンボルとして、新潟県民に仏舎利が送られ同年十月三十一日仏舎利塔建立。昭和四十一年六月三十日現平和塔が完成し、現在に至る。

今年の平和塔花まつりと戦没者慰霊供養、東日本大震災物故者三回忌法要も、四月二十一日に厳粛に執り行わせて頂きました。この日は朝から天気も良く桜も満開、新聞にも当日案内を掲載いたしましたので、区民または広く市民・県民の大勢の方に参拝いただきました。戦没者のご家族もお見えでした。

毎年四月第二か第三土曜日に、秋葉区仏教会（会員三十四ヶ寺）主催での平和塔花まつりを勤めています。どうぞお気軽にご参拝下さい。

【予告】「いのち・愛・人権」

新潟展

期日 平成二十五年十二月十一日(水)～十七日(火)

会場 新潟市民芸術文化会館及び新潟市音楽文化会館



散華



稚児による灌仏

**沼垂仏教会・花まつり**

毎年四月の第三土曜日を基本に日取りを決め、主に沼垂寺町を中心に行事が行われます。今年も四月二十日(土)の午後二時から、雅楽の演奏と共に大勢の稚児たちがおねりに出かけ、白象を連れて再び会場の光照寺様へと帰ってきました。道中の通行人や買い物客も、時ならぬ生の楽の音と着飾った愛らしい稚児たちの姿に、思わず歩を止めて微笑ましく見送っていました。

会場寺院の光照寺様では全ての住職による散華に続き、聖道門と浄土門とに分かれてそれぞれに法要が勤まりました。その後、稚児たち全員が行う小さな誕生仏への灌仏は、いつまでもしっかりと子供たちの記憶に残ることでしょう。

**花まつりとは…**

四月八日のお釈迦さまの誕生を祝うことで、仏教界では稚児や白象による行列（おねり）をしたり、花御堂を置きその中にお釈迦さまの誕生時の姿を祀って甘茶をおかけする（灌仏）法要を勤めます。

鳥屋野仏教会・花まつり

主催／鳥屋野仏教会  
（真宗大谷派・皆応寺・西方寺・金宝寺、真宗佛光寺派・佛興寺 計4ヶ寺）

日時／平成25年5月5日 10：00～15：00

会場／真宗大谷派 皆応寺

参加人数／総数137名（稚児30名 保護者60名 寺族25名 世話方・勝手20名 カメラマン2名）

次第／10：00～10：30 稚児行列行進 10：30～11：20 式典・法話・ビデオ  
11：45～14：30 祝賀会 14：30～15：00 あとかたづけ



稚児行列



式典（散華）